

2009年11月11日 事前説明会 Q&A

<p>1. 社会人にとって、研修期間はやや長い。社会人の場合、どのような形での参加が可能か？前回は実際に社会人の方々はどのような参加のされ方をしたのか教えてほしい。</p>
<p>10日間のプログラムなので、社会人が休暇を取るにはやや長いと思う。前回は、社会人は夏休みの期間をそこに充てて、休暇を取り1週間休んでフル参加したというケースがある。選考後の相談となるが、参加期間も個別相談を受けている。</p>
<p>2. 語学に不安がある。ディスカッションも英語でやるのか。</p>
<p>講師も色々な人がいるから、共通言語は英語となる。講義も英語で受けることになるし、ディスカッションもあるので、スピードの速い英語の聞き取りは必要ないが、ある程度のスピードの英語が理解できるかは選考の際にも考慮されるが、流ちょうに話せなくてもコミュニケーションを取る姿勢があれば大丈夫だと思う。</p>
<p>3. 今回の開催は導入編ということだが、事前の知識は必要とされているのか。また、今後の展望のスライドで、修士課程の前に今回の導入編とディプロマコースが紹介されていたが、修士課程を受ける際に、この導入編やディプロマコースへの参加は必須なのか。</p>
<p>今回の導入編は、事前の知識は必要としていない。ただ、選考後から2月の開催までの間に事前研修を行ったり、事前学習のための本やWEBなどのソースを提供する予定である。そういったものを利用して、予備知識を入れて10日間のプログラムを受けることで包括的に理解していただけたらと思う。</p> <p>修士課程は、今回の導入編とはまた別のコースである。導入編への参加などが修士の選考基準に関わるということはない。ただ、この修士課程で学ぶことがどのようなものであるかなどを理解されるために、今回の導入編への参加などされることをお勧めする。</p>
<p>4. マイクロファイナンスのインターンシップについて。インターンシップの期間はどのくらいなのか。今回の導入編の申し込みについて。面接の日程が12月7日か9日と指定されているが、国外にいる可能性が高い。選考期間の調整は可能か。</p>
<p>そういった場合は、早めにご応募いただけたら良い。応募の時点で、ご相談いただければ、Skypeや電話での面接、別日程など対応していく。また、国内でも遠方の方や現在海外にいらっしゃる方についてもSkypeや電話での面接を予定している。</p> <p>インターンシップについて、WAFUNIFから派遣するインターンは、応募者の希望に合わせて、派遣先・内容、フレキシブルに対応している。</p>
<p>5. 選考基準について。キャリアビジョンはどの程度重視されるのか。また、選考はどのように行われるのか。面接は英語で行うのか。</p>
<p>選考の基準は、将来マイクロファイナンスをするのか、しないのかではない。マイクロファイナンスの現場を見て、自分が発展途上国に支援できることがあるという発見が大事と考えている。今後行われるディプロマコース、修士課程になればその順にキャリアビジ</p>

ョンが重視されるということがあると思う。特に、修士課程の場合は 1 年間もかけて行うのだから。

来年 2 月のコースでは、英語が重視される。マイクロファイナンス研究を専門に行っている人の話すマイクロファイナンス、ファイナンスのプロから見たマイクロファイナンス、NGO に携わっている人の語るマイクロファイナンスなど講師陣もバックグラウンドが異なるし、参加者自身のバックグラウンドも異なるので、英語の講義を聞いて、ディスカッションがしっかりでできると良い。

面接は英語でも行う。TOEIC や TOFEL など数字で言う英語スキルと英語で表現できるかは違う。なので、数字があるということは選考に関係ないが、英語経験がなくても表現できれば良い。

6. 面接の質問内容は何か。

その回その回について異なる。基本的には、その人のバックグラウンドを聞いて経験背景をベースに聞いて引き出す形の質問をしていくので、特に準備は必要ない。その人の全く分からないような内容について急に聞くということはない。

7. この導入編は年に 2 回程度行われる予定か。今後のスケジュールを教えてください。

現時点では年 2 回を予定している。ディプロマコースとの兼ね合いで、回数が減ったりなど変化はあると思うが。バングラデシュには断食の期間があるし、バングラデシュの休日の関係で、今行われている時期とはずれる可能性がある。バングラデシュの夏は雨季なので避けないといけない。それ以外の期間で開催していく。開催期間については、決まり次第 WEB にアップしていく予定。